Express 5800





NEC Expressサーバ Express5800シリーズ

Express5800/R320e,R320f,R320g,R320h シリーズ

iSCSI設定手順書

(Windows Server 2012R2,2016,2019編)

2021年8月 5版 © NEC Corporation 2021

目 次

目 次	2
本書で使う表記	3
本文中の記号	3
本書についての注意、補足	4
Ⅰ. iStorage の初期設定(iSCSI)	5
2. ft サーバの設定 (iSCSI)	6
2.1 事前準備	6
2.2 iStorage StoragePathSavior for Windows のインストール	8
2.3 iSCSI イニシエーターの設定	9
3. ft サーバからの接続確認	20

本書で使う表記

本文中の記号

本書では安全にかかわる注意記号のほかに3種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味 があります。

-0	ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことにつ
重要	いて示しています。記載の手順に従わないときは、ハードウェアの故障、データの損失など、
	重大な不具合が起きるおそれがあります。
	ハードウェアの取り扱い、ソフトウェアの操作などにおいて、確認しておかなければならない
チェック	ことについて示しています。
) Ett	知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示しています。

本書についての注意、補足

- 1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- 2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- 3. 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの ことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 5. 運用した結果の影響については、4項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 6. 本書の説明で用いられているサンプル値は、すべて架空のものです。

Ⅰ. iStorage の初期設定(iSCSI)

iStorage の初期設定をおこないます。

「ディスクアレイ装置 ユーザーズガイド」の「第6章 ディスクアレイの初期設定 (iSCSI)」を参照してください。

2.ft サーバの設定 (iSCSI)

2.1 事前準備

(1) IP アドレスの準備

ft サーバに付与する iSCSI 用の IP アドレスを 2 個と iStorage に付与する iSCSI 用の IP アドレスを 2 個準備 してください。また、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスもネットワーク管理者に確認し、準備して ください。

ft サーバ用 IP アドレス①_

ft サーバ用 IP アドレス②

iStorage 用 IP アドレス③

iStorage 用 IP アドレス④_____ ※上記①と③及び②と④はそれぞれ通信可能な IP アドレスであること

(①,③と②,④は異なるネットワークセグメントであることを推奨)

(2) NIC (1000BASE-T/10GBASE-T 接続ボード)の取り付け

ft サーバのユーザーズガイドにしたがって、ft サーバに NIC を取り付けてください。



iSCSI をオンボード LAN(1000BASE-T/10GBASE-T)で接続、または既に NIC(1000BASE-T/10GBASE-T)が ft サーバに取り付けられていれば、本項の作業は不要です。

(3) ft サーバのネットワークの設定

[スタート] 画面 →「コントロールパネル」→「ネットワークとインターネット」→「ネットワークと共有 センター」→「アダプターの設定の変更」で設定の対象となる「イーサネット」のプロパティを開き、IP ア ドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを設定してください。

■ iSCSI 用 LAN のパス冗長化には iStorage StoragePathSavior for Windows を使用します。
■ アダプターのチーム化の機能は iSCSI 用 LAN では設定しないでください。

(4) iStorage との接続

ft サーバと iStorage のホスト接続ポート間を 1Gbps 接続ケーブル、または、10Gbps 接続ケーブルで接続します。

 NF5313-SF24、NF5323-SF24、NF5323-SF26、NF5333-SF26W 搭載装置 (10Gbps iSCSI Copper CONT 搭載装置)

10Gbps 接続ケーブルコネクタ形状: RJ-45 コネクタ ・1Gbps 接続では、カテゴリ 6 LAN ケーブル推奨。



接続構成の例は、iStorage ユーザーズガイド「付録 J iSCSI 対応ディスクアレイにおける留意事項」を参照 してください。

以下に iStorage のホスト接続ポートを図示します。



NF5313-SF24 搭載装置 (Host Port Card(10Gb iSCSI Copper) 搭載装置) (M12e) NF5323-SF24、NF5323-SF26 搭載装置 (Host Port Card(10Gb iSCSI Copper) 搭載装置) (M120e) NF5333-SF26W 搭載装置 (Host Port Card(10Gb iSCSI Copper) 搭載装置) (M320e) 以下に、1Gbps iSCSI 接続の一例(iStorage StoragePathSavior for Windows と組み合わせたパス冗長化構成) を示します。



(5) iStorage のネットワークの設定
 iStorage ユーザーズガイド「第6章 ディスクアレイの初期設定(iSCSI)」を参照してください。
 また、ft サーバと iStorage の疎通確認をおこなってください。

2.2 iStorage StoragePathSavior for Windows のインストール

iSCSI用 LAN のパス冗長化には iStorage StoragePathSavior for Windows(以下、SPS)を使用します。

- (1) インストールについては、「iStorage StoragePathSavior for Windows インストールガイド」の「2.1 インストール」を参照してください。
- (2) 再起動後に、iStorageと ft サーバを接続してください。SPS が対象の iStorage、各パスを自動的に認識して、 運用が開始されます。

以上で、SPS のインストールは完了です。

2.3 iSCSI イニシエーターの設定

本章で使用している画面イメージは、Windows Server 2012 R2 の画面イメージですが、Windows Server 2016、Windows Server 2019 も同様の手順で設定できます。

(1) 2.1 事前準備で準備した IP アドレスを確認してください。

ft サーバ用 IP アドレス①	
ft サーバ用 IP アドレス②	
iStorage 用 IP アドレス③	
iStorage 用 IP アドレス④	

(2) ft サーバと iStorage のホスト接続ポート間を 1Gbps 接続、または 10Gbps 接続ケーブルで接続します。

(3) iSCSI イニシエーターのインストール作業はありません。

「スタート」画面→「管理ツール (Windows Server 2016、Windows Server 2019の場合はWindows 管理ツー ル)」から「iSCSIイニシエーター」を起動してください。

ただし、初回起動時のみは、下記のダイアログが表示されます。サービスの起動の設定に問題がなければ、「はい」を押してください。

Microsoft iSCSI	x
Microsoft iSCSI サービスが実行されていません。iSCSI が正しく動作するためには、このサ ービスが開始されている必要があります。サービスを今すぐ開始し、コンピューターを起動するた びにサービスが自動的に開始するよう構成するには、[はい] をクリックしてください。	
(はい(Y) いいえ(<u>N</u>)	

(4) iSCSI イニシエーターのプロパティの「探索」のターゲットポータルの「ポータルの探索」ボタンを押してく ださい。

	iSCSI イニシ	シエーターのプロパティ	r I
ターゲット 探索	お気に入りのターゲット ボリコ	1-ムとデバイス RADI	US 構成
ターゲット ボー ターゲットを村 アドレス	タル 注索するボータル(<u>1):</u> ポート	アダプター	最新の情報に更新(E) IP アドレス
ターゲット ポ ターゲット ポ クリックします	ータルを追加するには、「ボータルの扌 ータルを削除するには、上でアドレス 。	深索] をクリックします。 を選択して 頂川除] を	ポータルの探索(P) 肖耶家(R)
- iSNS サーバー システムが登 名前	録されている iSNS サーバー(①:		最新の情報に更新(E)
iSNS サーバ	ーを追加するには、[サーバーの追加	0]をクリックします。	サーバーの追加(<u>D</u>)
iSNS サーバ ックします。	ーを削除するには、上でサーバーを	選択して 削除] をクリ	肖·『除余(<u>M</u>)
探索と iSN	5 の詳細		
		ОК	キャンセル 適用(<u>A</u>)

(5) 接続する iStorage のホスト接続ポート(iSCSI ポート)の IP アドレス③を「IP アドレスまたは DNS 名」に入 力してください。内容に誤りがないことを確認して、「詳細設定」ボタンを押してください。

ターゲットポータルの探索				
追加するポータルの IP アドレスまたは DNS 名、およびポート番号を入力してください。				
ターゲット ポータルの探索に関する既定の設定を変更するには、 [詳細設定] をクリックしま す。				
IP アドレフまたは DNS 名(). 192.168.1.234 ポート (既定値は 3260)(P): 3260				
詳細設定(A) OK(Q) キャンセル(C)				

) 「ポート」の設定値"3260"は変更しないでください。

(6) ローカルアダプターに「Microsoft iSCSI Initiator」を選択し、ft サーバの IP アドレス①を「イニシエーターIP」から選択してください。内容に誤りがないことを確認して、「OK」ボタンを押してください。

	詳細設定	?	x
全般 IPsec			
接続方法			
D カル アダプター(L):	Microsoft iSCSI Initiator	V	
1_>1_ P- IP(1):	192.168.1.1		2
ターゲット ポータル IP(工):		~	
CRC / チェックサム			
□ データ ダイジェスト(D)	🗆 ヘッダー ダイジェスト(Н)		
□ CHAP ログオンを有効にす	5(E)		
CHAP ログオン情報 CHAP を使用すると、ターゲッ	トレイニシエーターとの間の認証を行うことにより、接続のセキュリティが確保され。	ŧ	٦× ا
す。 CHAR 友徳田オるには このく	ニシューニカニのカニビット トレー株式されている々 おち とび クロルロ シュニカロット とに	aı	
名前およびシークレットを指定し	ニシェーシーンの第二人間にない、ユーザー名は既定でシステムのイニシェーター名に	な	
	. 1000.01		
名前(N):	Ign.1998-01.com.vmware:localhost-04be4a2c	_	
ターゲット シークレット(<u>S</u>):			
□相互認証の実行(P)			
相互 CHAP を使用するには、 用します。	構成ページでイニシエーターのシークレットを指定するか、または RADIUS を使		
🗌 RADIUS を使用してユーサ	・「認証資格情報を生成する(U)		
□ RADIUS を使用してターゲ	ットの資格情報を認証する(R)		
	ОК ++>>セル	適用(<u>A)</u>

(7) 「OK」ボタンを押してください。



(8) 次のポップアップ画面が表示される場合があります。「OK」ボタンを押してください。



(9) 設定が完了すると次のような画面表示となります。 冗長構成にするため、「ポータルの探索」を押してください。

	iSCSI	イニシエーターのプロパティ	×
ターゲット 探索 お気(こ入りのターゲット	ボリュームとデバイス RADIU	JS 構成
ターゲット ボータル ターゲットを検索するボ アドレス 192.168.1.234	ータル(工): ポート 3260	アダプター Microsoft iSCSI Initiat	最新の情報に更新(E) IP アドレス or 192.168.1.1
ターゲット ポータルを追 ターゲット ポータルを追 クリックします。	加するには、「ポー: 除するには、上で7	タルの探索]をクリックします。 7ドレスを選択して 間除]を	ポータルの探索(P) 肖順除(B)
- iSNS サーバー システムが登録されてい 名前	ゐ iSNS サーバー	(D :	最新の情報に更新(E)
iSNS サーバーを追加す iSNS サーバーを追加す ックします。	するには、【サーバー するには、上でサー	の追加] をクリックします。 パーを選択して 頂川涂] をクリ	サーバーの追加(<u>D</u>) 肖耶涂(<u>M</u>)
探索と iSNS の詳細			
		ОК	<u>キャンセル</u> 適用(<u>A</u>)

(10) 接続する iStorage のホスト接続ポート(iSCSI ポート)の IP アドレス④を「IP アドレスまたは DNS 名」に入 力してください。内容に誤りがないことを確認して、「詳細設定」ボタンを押してください。

ターゲット ポータ	ルの探索		
追加するポータルの IP アドレスまたは DNS 名、およびポート番号を入力してください。			
ターゲット ポータルの探索に関する既定の設定を す。	変更するには、「詳細設定」をクリックしま		
IP アドレ <u>スまたは DNS 冬(1)</u> 192.168.3.234	ポート (既定値は 3260)(<u>P</u>): 3260		
言羊細語 設定(<u>A</u>)	OK(<u>O</u>) キャンセル(<u>C</u>)		

「ポート」の設定値"3260"は変更しないでください。	
-----------------------------	--

(11) ローカルアダプターに「Microsoft iSCSI Initiator」を選択し、ft サーバの IP アドレス②を「イニシエーターIP」から選択してください。内容に誤りがないことを確認して、「OK」ボタンを押してください。

	詳細設定 ?	x
全般 IPsec		
接続方法		
コーカル アダプター	-(L): Microsoft iSCSI Initiator	
IP((D: 192.168.3.1	2
ターゲット ポータル	, IP(_).	
	<u>b</u>	
ロデータダイジェ	~ :スト(D)	
 CHAP を使用する す。 CHAP を使用する 名前およびシーク ります。 名前(<u>N</u>): 	Sと、ターゲットとイニシエーターとの間の認証を行うことにより、接続のセキュリティが確保されま Sには、このイニシエーターのターゲット上に構成されている名前および CHAP シークレットと同じ レットを指定します。特に指定しない限り、ユーザー名は既定でシステムのイニシエーター名にな iqn.1998-01.com.vmware:localhost-64be4a2c	
ターゲット シークレ	까서S):	
□ 相互認証の実 相互 CHAP を使 用します。 □ RADIUS を使 □ RADIUS を使	紹行(P) 9月するには、構成ページでイニシエーターのシークレットを指定するか、または RADIUS を使 9月してユーザー記録正資格情報を主成する(U) 9月してターゲットの資格情報を記録正する(R)	
	OK キャンセル 適用(A	.)

(12) 「OK」ボタンを押してください。



(13) 次のポップアップ画面が表示される場合があります。「OK」ボタンを押してください。



(14) 設定が完了すると次のような画面表示となります。

ゲット 探索	お気に入りのターゲット	ボリュームとデバイス R	ADIUS 構成
			112/0
≀ーゲット ポータ	JI		
ターゲットを検っ	たするポータル(<u>1</u>):		最新の情報に更新()
7562	ポート	アダプター	IP アドレス
192.168.1.234	3260	Microsoft iSCSI	Initiator 192.168.1.1
192.168.3.234	3260	Microsoft ISUSI	Initiator 192.168.3.1
	々山を追加するには 「ポー。	如此仍探索]发力[30].手	オ. ポークルの探索(P)
×) / //	STREASING STREAM DIT	27707147101 C2777200	
ターゲット ポー・ クロックレキオ	タルを削除するには、上でフ	アドレスを選択して 頂り除き	^{] を} 削除(<u>R</u>)
SNS #-//			
システムが登翁	だれている iSNS サーバー	-(1):	最新の情報に更新(
システムが登翁 名前	だれている iSNS サーバー	·([):	最新の情報に更新(
システムが登録 名前	だれている iSNS サーバー	-(D):	最新の情報に更新(
システムが登録 名前	稔れている iSNS サーバー	-([):	最新の情報に更新(
システムが登録 名前	まされている iSNS サーバー	-(D):	最新の情報に更新(
システムが登録 名前 iSNS サーバー	まされている iSNS サーバー を追加する(こは、[サーバー	①:⑦:⑦:⑦:②:②:②:②:②:②:②:②:②:②:③:③:③:③:③:③:③:③:③:③:③:③:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:④:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:●:>	最新の情報に更新(サーバーの追加(<u>D</u>)
システムが登録 名前 iSNS サーバー iSNS サーバー ックします。	まされている iSNS サーバー を追加するには、[サーバー を削除するには、上でサー	(①: の追加] をクリックします。 バーを選択して 頂明除] る	最新の情報に更新(サーバーの追加(D) ドクリ 肖耶除(M)
システムが登録 名前 iSNS サーバー iSNS サーバー ックします。 探索と iSNS	たされている iSNS サーバー を追加するには、「サーバー を削除するには、上でサー の詳細	([): ・の追加] をクリックします。 バーを選択して 頂叩除] を	最新の情報に更新(サーバーの追加(D) さり 消収除(M)
システムが登録 名前 iSNS サーバー iSNS サーバー ックします。 探索と iSNS	まされている iSNS サーバー を追加するには、[サーバー を削除するには、上でサー の詳細	(①: の追加] をクリックします。 バーを選択して 頂明余] を	最新の情報に更新(サーバーの追加(<u>D</u>)
システムが登録 名前 iSNS サーバー iSNS サーバー ックします。 <u>探索と iSNS</u>	たされている iSNS サーバー を追加するには、[サーバー を削除するには、上でサー の詳細	([): ・の追加] をクリックします。 バーを選択して 頂叩除] き	最新の情報に更新(サーバーの追加(D) さり) 肖小除(M)

(15) 手順(8)、(13)で認証エラーが発生した場合は、iStorage に本コンピュータのイニシエーター名が正しく登録 されていないことがありますので、iStorageManager などでイニシエーター名を確認してください。 (16) iSCSI イニシエーターのプロパティの「ターゲット」の検出されたターゲットを選択し、「接続」ボタンを押してください。

iSCSI イニシェーターのプロパティ
ターゲット 探索 お気に入りのターゲット ボリュームとデバイス RADIUS 構成 クイック接続 基本接続を使用してターゲットを検出し、ログオンするには、ターゲットの IP アドレスまたは DNS 名を入力 し、「クイック接続」をクリックします。
ターゲット(I): りイック接続(Q) 検出されたターゲット(G) 最新の情報に更新(B)
名前 Ign.2001-03.jp.nec:storage01:ist-m000-sn-000000094000003.lx-v 非アクティブ
詳細オブションを使用して接続するには、ターゲットを選択して [接続] をクリ ックします。 カーゲットのは結本完全(これ地をするには、ターゲットを選択して [接続] をクリ
クリックします。 セッションの構成など、ターゲットのプロパティを確認するには、ターゲットを選 プロパティ(P)
ターゲットに関連行けられているデバイスを構成するには、ターゲットを選択 して [デバイス] をクリックします。
基本 ISCSI 接続およびターゲットの詳細
OK キャンセル 適用(A)

(17) ターゲットへの接続の「複数パスを有効にする」にチェックを入れ、「詳細設定」ボタンを押してください。

ターゲットへの接続	x			
ターゲット名: 11-03.jp.nec:storage01:ist-m000-sn-0000000994000003.lx-vm51.target0000				
✓この接続をお気に入りのターゲットの一覧に追加する オンにすると、このコンピューターが再起動するたびに、自動的に接続の復元が試行されるようになります。				
○ ###設定(<u>A</u>) ○ ###設定(<u>A</u>) ○ K キャンセル				

(18) 接続方法のローカルアダプターから「Microsoft iSCSI Initiator」を選択し、イニシエーターから「ft サーバのIP アドレス①」を選択し、ターゲットポータル IP から「iStorage のホスト接続ポート(iSCSI ポート)の IP アドレス③」を選択し、「OK」ボタンを押してください。

è般 按	IPsec		
1#			
	远方法		_
	ーカル アダプター(し):	Microsoft iSCSI Initiator	
1:	ニシエーター IP(<u>I</u>):	192.168.1.1 🗸	
原	- ゲート ポータル IP(<u>T</u>):	192.168.1.234 / 3260	
OF	RC / チェックサム		
	データダイジェスト(D)	□ へッダー ダイジェスト(H)	
名りま	前およびシークレットを指定 ます。 前(N):	EUます。特に指定しない限り、ユーザー名は既定でシステムのイニシエーター名にな ign.1998-01.com.vmware:localhost-64be4a2c	1
夕	ーゲット シークレット(<u>S</u>):		
日相用	相互認証の実行(P) 互 CHAP を使用するには します。	、構成ページでイニシェーターのシークレットを指定するか、または RADIUS を使 サージEFY容格性報を生成する(11)	
	RADIUS を使用してター	5 - ===================================	
200			

(19) 「OK」ボタンを押してください。



(20) 冗長構成で使用するため、再度 iSCSI イニシエーターのプロパティの「ターゲット」の検出されたターゲットを選択し、「接続」ボタンを押してください。

iSCSI イニシエーターのプロパティ	x
ターゲット 探索 お気に入りのターゲット ボリュームとデバイス RADIUS 構成 クイック接続 基本接続を使用してターゲットを検出し、ログオンするには、ターゲットの IP アドレスまたは DNS 名を入力 し、「クイック接続」をクリックします。	
ターゲット(1): 検出されたターゲット(G)	
最新の情報に更新(R) 2.201-03.jp.nec:storage01:ist-m000-sn-0000000994000003.lx-v 接続完了	
詳細オプションを使用して接続するには、ターゲットを選択して [接続] をクリ ックします。 ターゲットの接続を完全に切断するには、ターゲットを選択して [切断] を りリックします。	>
セッションの構成など、ターゲットのプロパティを確認するには、ターゲットを選 プロパティ(P)… 探して「プロパティ」をグリックします。 ターゲットに関連付けられているデバイスを構成するには、ターゲットを選択 して「デバイス」をクリックします。 デバイス(V)…	
基本 iSCSI 接続およびターゲットの詳細	
OK キャンセル 適用(A)	

(21) ターゲットへの接続の「複数パスを有効にする」にチェックを入れ、「詳細設定」ボタンを押してください。

ターゲットへの接続	x			
ターゲット名: 11-03.jp.nec:storage01:ist-m000-sn-0000000994000003.lx-vm51.target0000				
- ▼この接続をお気に入りのターゲットの一覧に追加する オンにすると、このコンピューターが再起動するたびに、自動的に接続の復元が試行されるよ うにちゅます				
□ 業業数パスを有交加にする(E)				
詳細設定(<u>A</u>)… OK キャンセル				

(22) 接続方法のローカルアダプターから「Microsoft iSCSI Initiator」を選択し、イニシエーターから「ft サーバのIP アドレス②」を選択し、ターゲットポータル IP から「iStorage のホスト接続ポート(iSCSI ポート)の IP アドレス④」を選択し、「OK」ボタンを押してください。

	詳細設定
役 IPsec	
接続方法	
ローカル アダプター(<u>L</u>):	Microsoft iSCSI Initiator
イニシェーター IP(I):	192.168.3.1 🗸
ターゲット ポータル IP(丁):	192.168.3.234 / 3260
CBC / チェックサム	
□ データダイジェスト(D) □ CHAP ログオンを有効(2 CHAP ログオン情報 ○ CHAP を使用すると、ター う。 CHAP を使用するにな、こ ん 物前およびシークレットを指	□ ヘッダー ダイジェスト(H) する(E) ^が ットとイニシェーターとの間の認証を行うことにより、接続のセキュリティが確保されま Dイニシェーターのターゲット上に構成されている名前および CHAP シークレットと同じ 定します。特に指定しない限り、ユーザー名は既定でシステムのイニシェーター名にな
□ データダイジェスト(D) □ CHAP ログオンを有効に CHAP ログオン情報 ○ CHAP を使用すると、ターク す。 CHAP を使用するには、こ 2名前およびシークレットを指 ります。 名前(<u>N</u>):	□ ヘッダー ダイジェスト(H) する(E) 「ットとイニシエーターとの間の認証を行うことにより、接続のセキュリティが確保されま Dイニシエーターのターゲット上に構成されている名前および CHAP シークレットと同じ 定します。特に指定しない限り、ユーザー名は既定でシステムのイニシエーター名にな iqn.1998-01.com.vmware:localhost=64be4a2c
 □ データダイジェスト(D) □ CHAP ログオンを有効に CHAP ログオン情報 □ CHAP を使用すると、ターク す。 ○ CHAP を使用するには、この 名前わよびシークレットを指 ります。 名前(<u>N</u>): ターゲット シークレット(S): 	□ ヘッダー ダイジェスト(H) する(E) ^が ットとイニシエーターとの間の認証を行うことにより、接続のセキュリティが確保されま Dイニシエーターのターゲット上に構成されている名前あよび CHAP シークレットと同じ 定します。特に指定しない限り、ユーザー名は既定でシステムのイニシエーター名にな iqn.1998-01.com.vmware:localhost-64be4a2c
 □ データダイジェスト(D) □ CHAP ログオンを有効に CHAP ログオン情報 □ CHAP を使用すると、ターク す。 ○ CHAP を使用するには、こく 名前わよびシークレットを指 ります。 名前(<u>N</u>): ターゲット シークレット(<u>S</u>): □ 相互認証の実行(P) 相互 CHAP を使用するに(用します。 	□ ヘッダー ダイジェスト(H) する(E) 「かトとイニシエーターとの間の認証を行うことにより、接続のセキュリティが確保されま Dイニシエーターのターゲット上に構成されている名前あよび CHAP シークレットと同じ 定します。特に指定しない限り、ユーザー名は既定でシステムのイニシエーター名にな iqn.1998-01.com.vmware:localhost=64be4a2c
 □ データダイジェスト(D) □ CHAP ログオンを有効に CHAP ログオン情報 ○ CHAP を使用すると、ターク す。 ○ CHAP を使用すると、ターク す。 ○ CHAP を使用するには、こく 名前およびシークレットを指 ります。 名前(N): ターゲット シークレット(S): □ 相互認証の実行(P) 相互 CHAP を使用するにに 用します。 □ RADIUS を使用してユ・ 	□ ヘッダー ダイジェスト(H) すする(E) やっトとイニシエーターとの間の認証を行うことにより、接続のセキュリティが確保されま D/ニシエーターのターゲット上に構成されている名前および CHAP シークレットと同じ 定します。特に指定しない限り、ユーザー名は既定でシステムのイニシエーター名にな iqn.1998-01.com.vmware:localhost-64be4a2c ↓ 構成ページでイニシエーターのシークレットを指定するか、または RADIUS を使 ーザー認証資格情報を生成する(U)

(23) 「OK」ボタンを押してください。



(24) 「OK」ボタンを押してください。

iSCSI イニシェーターのプロパティ	
ターゲット 探索 お気に入りのターゲット ボリュームとデバイス RADIUS 構 クイック接続 基本接続を使用してターゲットを検出し、ログオンするには、ターゲットの IP アドレス: し、「クイック接続」をクリックします。	成 または DNS 名を入力
ターゲット(<u>T</u>):	クイック接続(Q)
検出されたターゲット(G)	最新の情報(こ更新(R)
名前	Ē7
詳細オブションを使用して接続するには、ターゲットを選択して [接続] をクリ ックします。 ターゲットの接続を完全に切断するには、ターゲットを選択して [切断] を クリックします。	接続(<u>N)</u> 切断(<u>D</u>)
セッションの構成など、ターゲットのプロパティを確認するには、ターゲットを選 択して [プロパティ] をクリックします。	プロパティ(<u>P</u>)
ターゲットに関連付けられているデバイスを構成するには、ターゲットを選択 して [デバイス] をクリックします。	デバイス(少
基本 iSCSI 接続およびターゲットの詳細	
ОК ‡т	ンセル 適用(<u>A</u>)

以上で、iSCSI イニシエーターの設定は終了です。

3.ft サーバからの接続確認

- (1) 「管理ツール (Windows Server 2016、Windows Server 2019 の場合は Windows 管理ツール)」→「コンピューターの管理」→「デバイスマネージャー」を起動してください。
- (2) 「ディスクドライブ」をクリックし、論理ディスクの数を確認してください。



£	コンピューターの管理	_ 🗆 X
ファイル(E) 操作(A) 表示(⊻)	ヘルプ(圧)	
🗢 🍬 🖄 📰 🔛 🖬	1Q	
◆ ◆ 2 [17] 2 [17] ◆ ◆ 2 [17] 2 [17] ◆ ◆ 2 [17] 2 [17] ◆ ○ 572,754 ◆ ○ 572,755 ◆ ○ 572,755 ◆ ○ 572,755 ◆ ○ 572,755 ◆ ○ 572,755 ◆ ○ 572,755 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75 ◆ ○ 572,75		■# デバイスマネージャー ^ ^{他の風作} ・ 数を確認
< III >		
	1	1

(3) 「ディスクの管理」を開き、論理ディスクの数(ft サーバに割り付けた論理ディスク数分が表示されます)を確認してください。

	*		コンピューターの管理	_ 0 X
	ファイル(E) 操作(A) 表示(⊻)	ヘルプ(日)		
	🗢 🔿 🙇 📰 😰 🛛			
	🌆 コンピューターの管理 (ローカル)	ポリューム	レイアウト 種類 ファイル システム 状態	操作
	▲ 🎁 システム ツール ▶ 💷 タフカ フケミューラ	 (C:) ミンフテムで予約済み 	シンプル ペーシック NTFS 正常 (ブート、ページ ファイル、クラッシュ ダンプ、プライマリ い シンプル、 ページック NTFS 正常 (シフテム、アクティブ プライマル パーティション)	ディスクの管理
	D 📓 イベント ビューアー			他の操作・
	▶ 100 共有フォルダー ▶ 100 円ーカル・フーザーとグルー			
	▷ 🔞 パフォーマンス			
	b Windows Server バック			
	ディスクの管理 ト 単 サービスとアプリケーション			
		<	III >	
		= 71270		
		ペーシック	システムで予約2 (C:) 250 MD NTEC 20 55 CD NTEC 200 40 CD	
		オンライン	正常(システム,: 正常(ブート、ページファイル、クラ 未割り当て	
		1 一 で で イスク 1 不明		
		20.00 GB	20.00 GB	
		初期160100ま	木割り当(
論理デ	ィスク数を確認		·	
		141 2		
		オフライン 🤇	20.00 GB 未割り当て	
		CD-ROM 0		
		DVD (D:)		
		メディアなし		
	< III >	■ 未割り当て ■ プラ	イマリパーティション	

 (4) ft サーバと iStorage 間の LAN ケーブルが接続されていることを確認した後、ft サーバを再起動し、コマンド プロンプトより以下のコマンドを実行してください。
 spsadmin /lun

コマンド実行により表示されるメッセージを見て、ft サーバに割り付けた論理ディスクの数と各論理ディ スクへのアクセスパス数およびパスの状態を確認してください。

C:¥>spsadmin /lun +++ LogicalUnit #0 [Normal] +++ SerialNumber="0000000995000001", LDNumber=0x00000 LoadBalance=Least Size 0: ScsiAddress=2:0:0:0, Priority=1, Status=Active 1: ScsiAddress=3:0:0:0, Priority=2, Status=Standby +++ LogicalUnit #1 [Normal] +++ SerialNumber="0000000995000001", LDNumber=0x00001 LoadBalance=Least Size 0: ScsiAddress=2:0:0:1, Priority=1, Status=Active 1: ScsiAddress=3:0:0:1, Priority=2, Status=Standby



何も表示されない場合は、サーバに割り付けたiStorage内の論理ディスクがOSに認識されてい ません。サーバとiStorage間の接続、アクセスコントロールの設定、NICドライバのセットア ップ等を確認してください。